

令和4年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	“あいとぴあ”さんかくセミナー第3回<ジェンダーと政治>				
講座の目的	医療、保育、介護等に携わるケア労働は、社会にとってなくてはならない仕事でありながら、その価値が高く評価されているとは言えない。特に日本では、ケア労働の多くを女性が担う実情がある。「ケア」について考えることが女性の政治参画や日本の民主主義とどう結びついていくのか、私たちは何ができるのかを学ぶ。				
募集対象	長野県在住・在勤、在学者				
定員人数	・オンライン 40名 ・パブリックビューイング会場 長野市：30名 池田町：30名 阿智村：30名 豊丘村：30名	申込人数	・オンライン 48名 ・パブリックビューイング会場 長野市2名 池田町7名 阿智村6名 豊丘村6名 合計 59名 うち後日配信希望 47名	当日参加人数	・オンライン 23名 ・パブリックビューイング会場 長野市1名 池田町5名 阿智村6名 豊丘村8名 合計 43名 後日配信視聴回数 48回
申込方法	ながの電子申請サービス、電話				
託児	設定なし				
回数	1回				
開催場所	オンライン(Zoom) *後日配信あり パブリックビューイング会場(長野市、池田町、阿智村、豊丘村)				
日時	10月1日(土) 13:30~15:30				
講師	岡野 八代 さん 政治学者 同志社大学教授				
開催内容	講義「ケアの視点から民主主義を考える」				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーについて、またケアについてわかりやすく話して頂きありがとうございました。 ・ケア役割が女性に偏っていることについて漠然とした不満や疑問を持っていましたが、歴史的・政治的な観点から講義により構造が分かり、溜飲が下がる思いでした ・今まで、ケアと政治の関係について、どんな関係があるのか知らなかったので、今日の講演は大変多くの知識を知れて良かったと思います。 ・女性の気持ちを、よく代弁してくださってあった。新しい視点を示してくださり、勉強になった。ありがたかった。ほんとうの「ジェンダー」の意味がわかった。内容が濃く、充実していた。 				



岡野講師



長野市会場



池田町会場



阿智村会場



豊丘村会場